



心の中の鬼退治！ 2月のテーマは、志（どんな自分になりたいの？）

一年で最も寒い季節に入り、今年も「節分」が近づいてきました。季節の始まりの日を「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と言いますが、その前日、つまり季節と季節を分ける日を「節分」と呼んでいます。それにしても、どうしてこんな寒い季節に豆まきをす

るのでしょう。大昔から、寒い寒いと家の中に閉じこもりがちなのこの時季、日本の国では疫病が流行り、多くの命が失われました。そのため閉じていた縁側を開け放し、悪い気

（鬼）を家の外へ追い出して、よい気（福）を呼び込もうと考えたことに由来しています。まさに、この国に生きてきた先人たちの「知恵」であると思います。このように、昔から長年行われてきた行事については、その意味を考えてみるとなかなかおもしろいかもしれません。この機会に子ども達には、自分の中から追い出したい鬼（弱い心）をしっかりと見つめさせたいものです。ご家庭でもぜひ、家族皆さんで鬼見つけをしてみたいかたがでしょう。怒り鬼、好き嫌い鬼、泣き虫鬼、後まわし鬼…等々、いったいどんな鬼が出てくるか楽しみですね。

また、一方でなりたい自分像（福）についても考えることができると素晴らしいと思います。アメリカで活躍している大谷翔平選手は、子どもの頃から「野球が上手になりたい」「みんなから応援される選手になりたい」と志を立てて、その実現のために「あいさつをしっかりとる」「一喜一憂しない」といった行動目標を考えて努力を続けてきたそうです。子どもの頃からの「志」を見事に実現し、未だに努力を怠らない大谷選手から届いたグローブは、今、6年生からひまわり学級へとまわっています。



地域と共に行った防災教育

先日は、1.17 防災訓練と参観授業にご参加いただき有難うございました。

本年度は、新たな取組として、地域の皆様とPTAの皆様にご協力いただき、「豚

汁と炊き込みご飯の炊き出し」そして、「5、6年生への語り部活動」で大変お世話になりました。おかげさまで子どもたちにとって、学びの深い一日となりました。心より感謝申し上げます。

市内でインフルエンザが猛威を奮っています。コロナ禍の間、ほとんど流行らしい流行がなかったため、体に抗体ができていないことが原因ともいわれていますが、元気な立花北の子ども達には、怖がりすぎるのではなく、あたりまえのことをしっかりやって、体の持つ免疫力を高めてほしいと思います。しっかり食べて、外で元気に遊び、夜更かしをせずにぐっすり眠って…そして笑って過ごす。みんなで心も体も元気で過ごせたらと思います。5年生が雪の自然学校から間もなく元気に帰って来ます。

